事例No.	1916
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	新潟県魚沼市

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・公共施設活用

事例種類	指定管理

事例内容・タイトル

市立病院の指定管理者制度の導入

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【新潟県魚沼市】
市立病院の指定管理者制度の導入

指定管理 **病院事業**

新潟県魚沼市市民福祉部健康増進課

● 取組の概要

経営の効率化を実現するため、公立病院再編に伴う新病院（小出病院）整備を契機に指定管理者制度を導入し、市立2病院を一体運営することとした。

◆背景

- 市町村合併以降、旧町村から引き継いだ病院及びへき地診療所を経営しており、いずれも不採算医療を担っていたことから赤字が常態化し一般会計の負担に頼らざるを得ない状況であった。
- 公立病院再編により県立病院を市立病院として運営することになり、新病院の計画の初期段階から２病院の経営形態について検討する必要があった。

◆具体的内容

- 市が中心となり新病院の運営母体となる財団法人を設立し、医療再編の中で新病院以外の市立医療機関についても一体的に運営する方向で検討を行った。
- 指定管理者制度を導入し2病院の経営形態を同じにすることにより、再編後それぞれの病院が持つ役割を分担するとともに、経営の効率化を図った。

◆効果

- 2病院のほか市立へき地診療所を含め指定管理にすることにより、すべての市立医療機関の一体的な経営が可能となり、事務部門や地域連携部門の一体化を行うことができた。

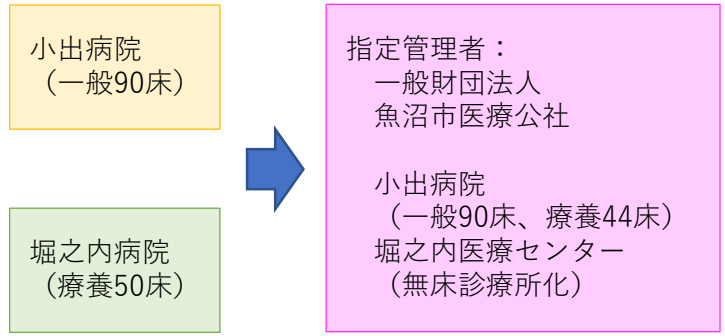
● 取組のポイント

- 診療所を含めたすべての市立医療機関の経営を同じ指定管理者に一元化したことで、限られた医療資源を有効に活用する仕組みを構築できた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　34,363人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　946.76km^2（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　134床（令和3年度決算）

経営効率化イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成22年度に新病院（小出病院）の整備基本構想を策定。運営は民間が行うこと（指定管理者制度導入）を明示。堀之内病院等についても、小出病院と一体的な経営を目指し必要な調整を行うことを確認。
- 平成26年3月、小出病院の指定管理者の指定を議決。同年12月、堀之内病院の指定管理者の指定を議決。

● 今後の展望

- 医療人材の確保は困難を極めている。職員にとって魅力ある病院づくりと情報発信に努める。
- 民間の利点を生かし、経営の一元化によるスケールメリットを生み出す。
- 少ない医療資源を有効に活用するためICTを効果的に活用する。